

紙 上 交 流 誌 わ っ か

令和 7 年 3 月 1 日
第 6 6 号
ねん 1 回 発 行

発行所 社会福祉法人仙台市障害者福祉協会
〒980-0022 仙台市青葉区五橋2-12-2 仙台市福祉プラザ8F
【臨時事務所】
〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-6-10 EARTH BLUE仙台勾当台ビル5F
TEL 022-266-0294 FAX 022-266-0292
Eメール: office-p@shinsyou-sendai.or.jp

編集 紙上交流事業編集委員会
仙台市知的障害者関係団体連絡協議会
特定非営利活動法人仙台市精神保健福祉団体連絡協議会
社会福祉法人仙台市障害者福祉協会

写真、イラスト、短歌、俳句、紹介、募集などの記事(点字のものでも可)を、お手紙やFAX・メールで
随時募集しております。なお、投稿記事の文字数は、800字程度とさせていただきます。

中学生部門の最優秀賞は、聖ドミニコ学院中学校2年の庄子結士さんの「体験から広がった世界」です。怪我で松葉杖生活を余儀なくされた春休みの体験を綴り、他者からのサポートのありがたみを感じつつ、

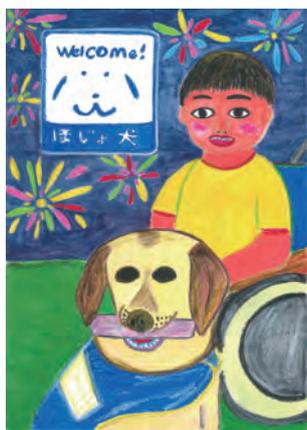
今年も仙台市「心の輪を広げる体験作文」に、多くのご応募をいただき、誠にありがとうございました。どの作品も胸を打たれる内容で、多様な視点と感性で描かれた心に響くものばかりでした。小学生部門では、仙台市立荒町小学校4年の富樫芽衣さんの「祖父の杖」が最優秀賞に選ばれました。杖を使って歩くお祖父さんの気持ちに寄り添い、サポートされたことがとても素晴らしいと感じました。また、コミュニケーションの必要性を感じた体験を具体的に表現された作者の思いが感じられる作品でした。

障害者への声かけの大切さを学んだとしていきます。自身の経験を通して視野を広げ、周囲のサポートへの感謝や社会への温かい思いを表現した素晴らしい作品でした。この作品を内閣府主催の全国コンクール「心の輪を広げる体験作文中学生区分」に推薦したところ、佳作を受賞されました。

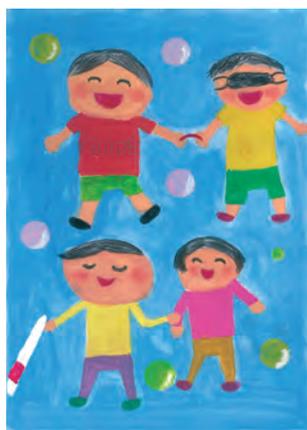
今回の応募作品は、障害があってもなくても共に助け合うことが大切であるという思いが込められており、どれも心に残る素晴らしい作品でした。各部門の最優秀賞を下段に掲載いたします。

「障害者週間のポスター」は、「障害の有無に関わらず誰もが能力を発揮して、安全に安心して生活できる社会実現」をテーマに内閣府が平成5年度から募集を行っているものです。

「心の輪を広げる体験作文」に、多くのご応募をいただき、誠にありがとうございました。どの作品も胸を打たれる内容で、多様な視点と感性で描かれた心に響くものばかりでした。小学生部門では、仙台市立荒町小学校4年の富樫芽衣さんの「祖父の杖」が最優秀賞に選ばれました。杖を使って歩くお祖父さんの気持ちに寄り添い、サポートされたことがとても素晴らしいと感じました。また、コミュニケーションの必要性を感じた体験を具体的に表現された作者の思いが感じられる作品でした。



題名: 知ってほしいな介助犬のこと
聖ドミニコ学院中学校 2年
木村 仁さん



題名: サポートできるよ
仙台市立通町小学校 4年
小泉 陽矢さん

「わっか」の「わ」は身体・知的・精神障害者の「話」であり、おしゃべりすることで「輪」を広げ、「和」を進めよう、という意味が込められています。

仙台市障害者による書道・写真・絵画コンテスト
 書道・写真・絵画コンテスト
 入賞作品決定

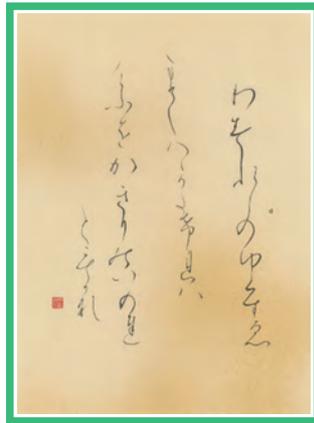
仙台市障害者による書道・写真・絵画コンテストは、障害者の自立と積極的な社会参加の促進を図る事を目的として、実施しているものです。今年、書道の部に54点、写真の部に43点、絵画の部に44点の応募があり、審査の結果、書道の部12点、写真の部12点、絵画の部12点が入賞されました。各部門の金賞作品を下段に掲載いたします。

また、入賞作品を全国障害者総合福祉センター主催「第39回障害者による書道・写真全国コンテスト」へ推薦したところ、見事に写真の部では伏見明俊さんと成田理恵さんが金賞、書道の部では柴崎優美さんが銅賞を受賞されました。



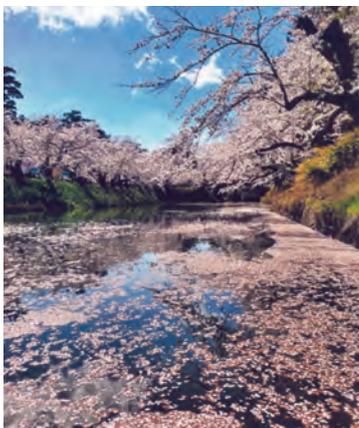
『蝉』

作：齋藤 大輝 さん



『百人一首より』

作：柴崎 優美 さん



『弘前城の花筏』

作：成田 理恵 さん



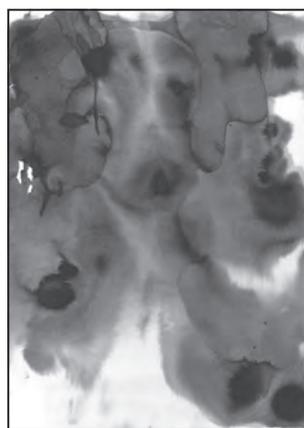
『俺の居場所』

作：伏見 明俊 さん



『青森ねぶた祭り』

作：加藤 文雄 さん



『くろ』

作：佐藤 有里恵 さん





「初めての書道教室を
開催しました」

オルタ八乙女では、令和7年1月に初めての書道教室を開催しました。参加された方にとっては、久しぶりの筆の感触だったと思います。多くの力作ができましたので皆さんにご覧いただけたら嬉しいです。今回の書道教室は、自立訓練（生活訓練）の創作活動で開催しましたが、墨の香りや書道に取り組む厳かな雰囲気は誘われてか、他のカリキュラムに参加されていた方も「自分もやりたい！」と書道に取り組まれていました。皆さんも、久しぶりに書道をやってみてはいかがでしょう？

わっか掲載の話聞いて、5年以上書いてなかったけど、「やって



作品投稿！



ウェルフェア
スポーツ2024に参加

車いすバスケットやeスポーツなどに挑戦！特にゴーグルとアームセンサーを付けて魔法のような技を体験できる『HADO』にみんな興味深々で楽しみました。

「ポケの森の活動の様子」

みよう」「書いてみよう」と思い書きました。何を書こうか悩み、昔使っていたアバターを思い出して、「この子ならいける」と、思い出しながら書きました。 恭也さん



利用者
三浦あゆみさんの作品

切り絵が趣味のあゆみさん。1枚の紙から様々な絵柄や植物など季節に合った作品を作っています。



ひときたうたの会
人來田唄の会

地域のみなさんと月に1回行われる歌を通しての交流会が約17年続いています。季節の歌、唱歌、童謡などジャンルは様々。みんなそれぞれの世界に入り込んで1時間に約18曲くらい入ります。ポツケの森のイベントや地域のお祭りなどでも披露しています。



のぞみ苑の活動の様子？

フラワーアレンジメント

のぞみ苑では一年を通して様々な行事を行っており、この日はフラワーアレンジメントを行いました。利用者さんお一人おひとりが家族へ日ごろの感謝の気持ちを込めて生けたフラワーアレンジメントに、受け取ったご家族からも笑顔がこぼれていました。



創作活動

季節に合わせた創作活動も行っています。利用者さんが思い思いに貼り絵をして、大きな絵を完成させました。完成した絵は事業所内の壁面に飾られ、職員をはじめ来訪される方々にも四季を感じさせてくれます。著述現在は雪景色にちなんだ

創作物が飾られています。かわいい雪だるま達が見る人の心まで楽しくさせてくれますね。

